

ほっ スピタル・かいづか

④ 薬剤部

問合せ先 貝塚病院 ☎422-5865

病院薬剤師の仕事の一つである「薬剤管理指導業務」をご存知でしょうか？

薬剤管理指導業務とは、薬剤師が入院患者のかたの病室に出向き、薬の服用ができていないか、薬による副作用が出ていないかを確認し適切な薬物療法の実施に向けて行うことです。

貝塚病院では年間約5,000人のかたに実施しています。薬剤管理指導業務は、まず入院時に他の病院から持ってきた薬(持参薬)を調べることから始まります。持参薬の内容や日数を確認し電子カルテに入力することで、入

院中に処方される薬との相互作用チェックが自動で行えます。

そして、ベッドサイドでの薬の説明、副作用チェック、退院時指導へと続きます。薬剤師が病室に出向いて直接話をするので、薬に関する不安や疑問点にも応えることができます。

退院の際にも服薬指導やお薬手帳へ処方内容の記載を行い、退院後の薬物療法に対するフォローを行っています。

薬剤師は薬の専門家として、またチーム医療の一員として最適な医療が提供できるよう努力しています。

薬剤部長 城野修男

